

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 21 日 (2017.9.21)

【公開番号】特開 2016-42691 (P2016-42691A)

【公開日】平成 28 年 3 月 31 日 (2016.3.31)

【年通号数】公開・登録公報 2016-019

【出願番号】特願 2015-156112 (P2015-156112)

【国際特許分類】

H 0 4 R 25/00 (2006.01)

H 0 1 Q 1/22 (2006.01)

H 0 1 Q 9/42 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 25/00 Z

H 0 1 Q 1/22 Z

H 0 1 Q 9/42

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 14 日 (2017.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アセンブリを備える補聴器であって、  
 前記アセンブリが、  
 音を受信して前記受信された音に対応する第 1 の音声信号に変換するためのマイクロフォンと、  
 前記第 1 の音声信号を前記補聴器のユーザの難聴を補償する第 2 の音声信号へと処理するための信号プロセッサと、  
 ワイヤレス通信に構成されたワイヤレス通信ユニットであって、電磁場放射および / または電磁場受信用に構成されたアンテナに接続された、ワイヤレス通信ユニットと、  
 を備え、  
 前記アンテナが、  
 前記ワイヤレス通信ユニットに接続された第 1 の給電点と、  
 第 2 の給電点と、  
 前記第 1 の給電点に接続された第 1 のブランチであって、前記第 1 のブランチが第 1 のセグメントおよび第 1 の自由端を備え、前記第 1 のセグメントの少なくとも一部分が第 1 の平面に延在する、第 1 のブランチと、  
 前記第 2 の給電点に接続された第 2 のブランチであって、前記第 2 のブランチが第 2 のセグメントおよび第 2 の自由端を備え、前記第 2 のセグメントの少なくとも一部分が第 2 の平面に延在する、第 2 のブランチと、  
 を備え、  
 前記第 1 の給電点および前記第 2 の給電点が、前記第 1 の平面と前記第 2 の平面との間に配置されている、補聴器。

【請求項 2】

前記第 1 のブランチの少なくとも第 1 の部分が、前記第 2 のブランチの少なくとも第 1 の部分に平行であり、および / または、前記第 1 のセグメントの前記少なくとも一部分が

、前記第 2 のセグメントの前記少なくとも一部分に平行である、請求項 1 に記載の補聴器。

【請求項 3】

前記第 1 のセグメント内を流れる電流が、前記第 2 のセグメント内を流れる電流の方向とは反対の方向を有する、請求項 1 または 2 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 4】

前記アンテナが区画面を有し、前記第 1 の平面から前記第 1 の給電点に延在する前記第 1 のブランチの第 2 の部分が前記区画面に直交し、および / または、前記第 2 の平面から前記第 2 の給電点に延在する前記第 2 のブランチの第 2 の部分が前記区画面に直交する、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 5】

前記第 1 の自由端が、前記区画面を基準として前記第 2 の自由端と反対側に配置されている、請求項 4 に記載の補聴器。

【請求項 6】

前記アンテナが、前記第 1 の給電点および前記第 2 の給電点を備える第 3 の平面を有し、前記第 1 のセグメントおよび / または前記第 2 のセグメントが前記第 3 の平面に交差しない、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 7】

前記第 3 の平面が、前記第 1 の自由端および / または前記第 2 の自由端を備えない、請求項 5 に記載の補聴器。

【請求項 8】

前記第 2 の給電点が、接地面に接続される、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 9】

フェイスプレートにさらに備え、前記第 1 のブランチの少なくとも一部分および / または前記第 2 のブランチの少なくとも一部分が、前記フェイスプレートに隣接して配置されている、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 10】

前記フェイスプレートの一部分がフロント面に延在し、前記第 1 の平面および / または前記第 2 の平面が、前記フロント面と平行である、請求項 9 に記載の補聴器。

【請求項 11】

前記第 1 のブランチの前記第 2 の部分が、前記フロント面に直交し、および / または、前記第 2 のブランチの前記第 2 の部分が、前記フロント面に直交する、請求項 10 に記載の補聴器。

【請求項 12】

前記第 1 のブランチが、1 つまたは複数の曲折部を備え、および / または、前記第 2 のブランチが、1 つまたは複数の曲折部を備える、請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 13】

前記第 1 のセグメントと前記第 2 のセグメントとの間の最短距離が、1 . 5 mm から 6 . 5 mm の間である、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 14】

前記第 1 の自由端と前記第 2 の自由端の間のエリアが、僅かな電束密度を有している請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 15】

前記補聴器が、耳穴型補聴器であり、または、前記補聴器が、耳掛け型補聴器である、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 16】

前記補聴器が、耳掛け型補聴器であり、前記第 1 の平面および / または前記第 2 の平面が、前記補聴器の長手側面に実質的に平行である、請求項 1 から 15 のいずれか一項に記

載の補聴器。

【請求項 17】

前記区画面が、耳穴型補聴器のフェイスプレートに平行であり、または、前記区画面が、耳掛け型補聴器の長手側面に平行である、請求項 4 から 16 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 18】

前記区画面が、前記補聴器について対称面を形成する、請求項 4 から 16 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 19】

前記第 1 の自由端が、前記区画面を基準として前記第 2 の自由端と反対側に配置可能であり、前記区画面が耳掛け型補聴器の長手軸に沿って延在し、または、前記区画面が耳穴型補聴器の耳穴軸に沿って延在する請求項 4 から 16 のいずれか一項に記載の補聴器。